

令和元年度

災害（復興）視察報告

（東日本大震災から8年半 宮城県の復興状況）

（一社）鳥取県測量設計業協会
総務委員 石田 克志

東日本大震災と視察場所

岩手 (約6,300人)
浸水面積 58km²

宮城 (約12,000人)
浸水面積 327km²

福島 (約4,000人)
浸水面積 112km²

※人数は死者・行方不明者

東日本大震災

平成23年3月11日
マグニチュード9.0
最大震度 7
津波高さ(観測点付近) 6.2m~11.8m
津波遡上高さ 20.4m~39.2m
死者・行方不明者 約2万2千人超

おながわ
女川町

石巻市

仙台海岸

福島第1原発

宮城県

面積：鳥取県の2.08倍
人口：鳥取県の4.03倍

3県の浸水面積 計 497km²

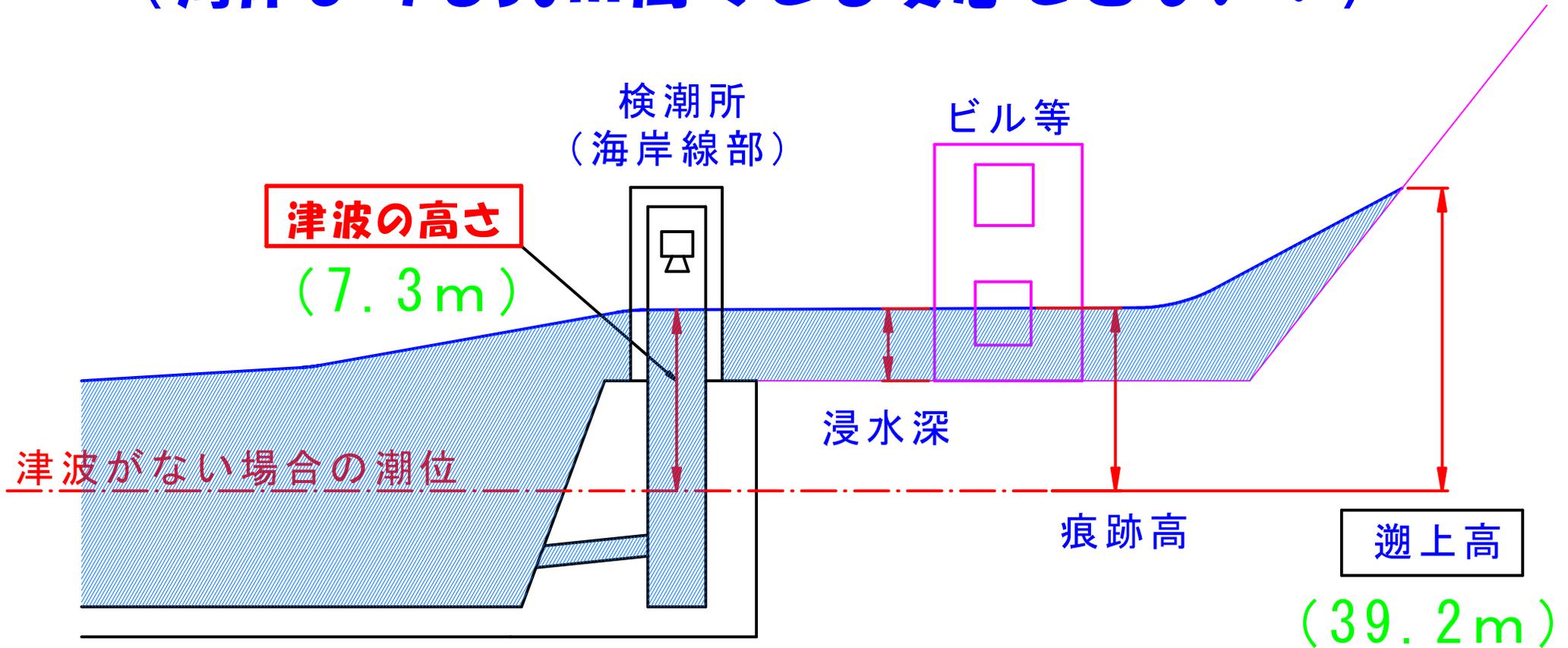
= (鳥取市面積の65%)

= (鳥取県東西100kmとして、海岸から5kmエリア浸水)



津波の高さは海岸線部

(海岸よりも30m高くても安心できない！)



津波の高さ7.3mでも遡上高39.2mのケースあり。

おながわ

女川町付近浸水図 (リアス式海岸)



女川町
被災率最大の自治体
85.4% (建物被災)

女川町 (女川浜)

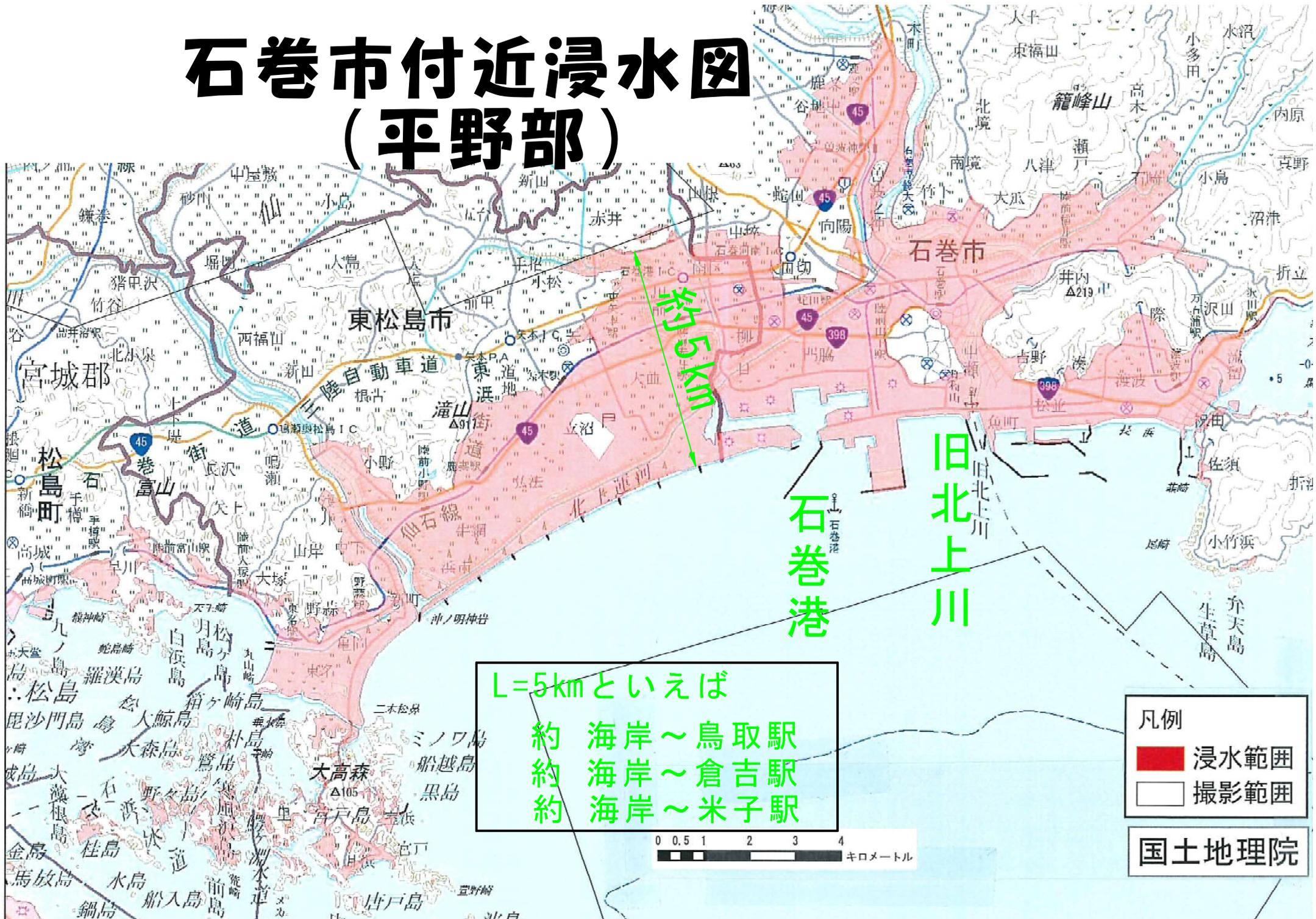
凡例

- 浸水範囲
- 撮影範囲

国土地理院

0 0.5 1 2 3 4 キロメートル

石巻市付近浸水図 (平野部)



仙台空港付近浸水図 (平野部)

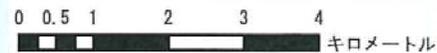


仙台空港

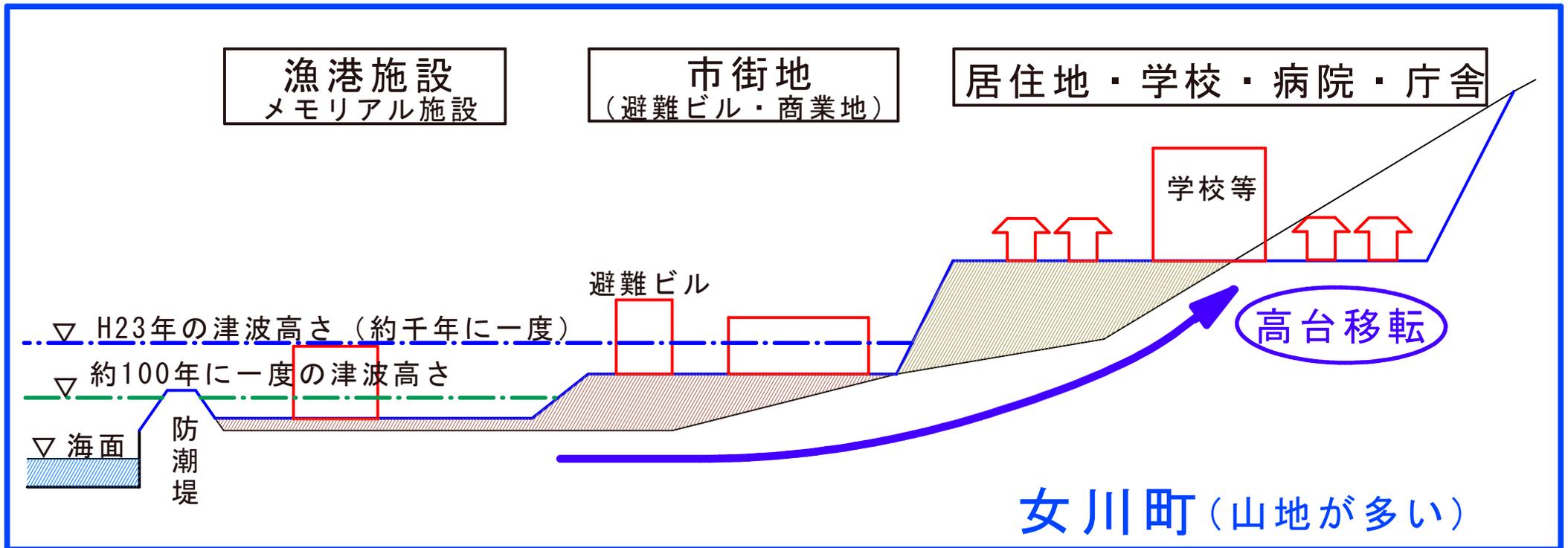
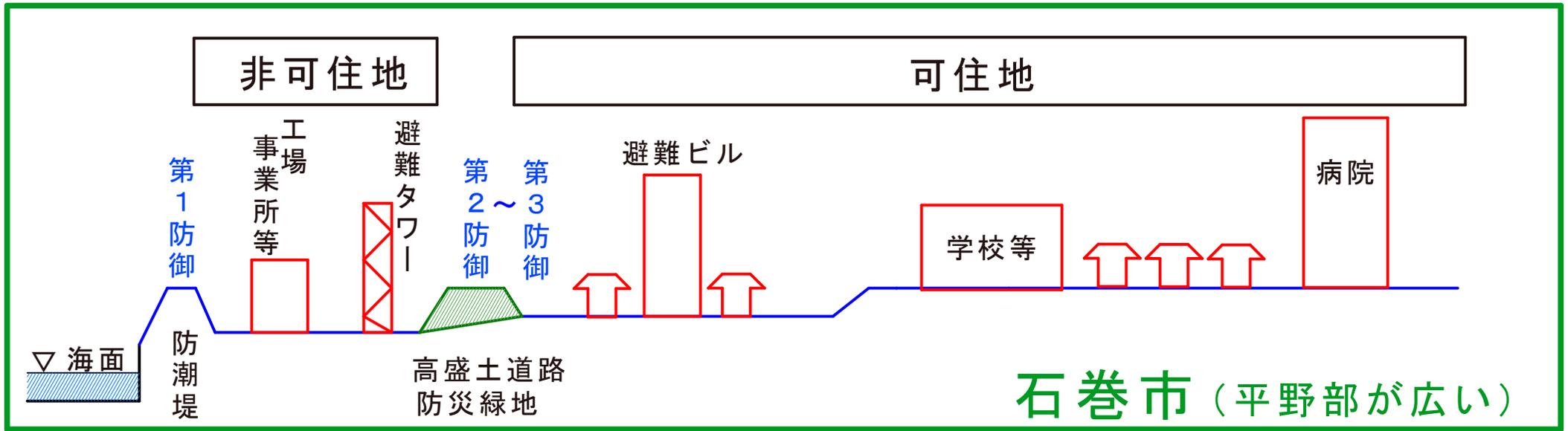
凡例

- 浸水範囲
- 撮影範囲

国土地理院



津波防御の基本的イメージ



国の津波防御の考え方

	レベル1 津波	レベル2 津波
対象とする津波	近代で最大	最大級（H23発生規模相当）
	数十年から 百数十年に一回程度 発生	五百年から 千年に一回程度 発生
津波防御施設整備の考え方	防災	減災
	人命を守る	人命を守る(避難施設含む)
	財産を守る	経済的損失を 軽減する
	経済活動を守る	大きな2次災害を引き起こさない
		早期復旧を可能にする

宮城県の復興 進捗状況

(令和元年8月11日付 宮城県HP 資料より)

復興計画	目標期間	令和2年度までの10年間で復興を達成		
	減災事業	多重防御、集団移転、避難場所の確保等		
復興状況 (R1. 8. 11)	道路施設	開通率	91 %	
	鉄道	復旧率	100 %	
	仮設住宅	入居数	226 人	ピーク時の 0.2 %
	県外避難者		143 人	ピーク時の 1.5 %
	災害廃棄物	処理進捗率	100 %	H26年3月末で終了
	被災商工業者	復旧済	97 %	廃業者除く
	農地復旧		99 %	除塩含む
	漁港復旧		86 %	
	防潮堤	着手		99 %
完成			45 %	109km

まとめ

- 日本には **災害を克服する力と知恵** がある
- 河川の整備、土砂災害の防止、**整備する必要性はまだまだ続く!**
- 建設業は、**人の命・財産を守る** 社会資本整備に **貢献できる!**
- **社会貢献** 可能な **コンサルタント業** にチャレンジしませんか!
- **若い力を** **鳥取で** **活かして・輝かせて** みませんか!

ご清聴ありがとうございました。